

生産力向上と持続性を両立した農業へ

転換畑で取り組む堆肥利活用

転換畑でも多収実現には土づくりが重要。

転換畑の多収実現には、排水対策はもちろんのこと、根粒菌や微生物を活性化させるために、土壌の通気性と湿度を適度に保つことが重要。
また、大豆では水稲以上に地力低下も進行。
これらのことから、多収実現には土づくりが重要。

全国及び東北の大豆平均単収の推移



東北の大豆平均単収は依然として低い。

土づくりのために堆肥を使ってみませんか！

堆肥は土壌の物理性改善だけでなく、肥沃度向上等の効果があることに加え、国内資源を活用しているため価格が安定！



堆肥を施用すると、農地に炭素がたまり、
空気中のCO₂も削減！



土づくりに関する
基本的な情報はこちら！

〔農地土壌をめぐる事情
(農林水産省) ヘリンク〕



大豆の土づくりに堆肥を
活用している優良事例等はこちら！

〔東北地域大豆優良事例集
(東北農政局) ヘリンク〕



農林水産省

土づくりの方法や堆肥入手の参考情報、
活用可能な補助事業は裏面へ！

意欲ある農業者が土壌診断に基づく土づくりの相談等を受けられる環境を整備するため、「土づくりの専門家」に関する情報をリスト化しており、都道府県毎に事業者等の連絡先を掲載しています。必要に応じて、土づくりに関する相談先として活用してください。



都道府県施肥基準等を基に適切な土づくりを行いましょう！

▼掲載先リンク
(農林水産省HP内)

過剰な施肥はコスト面でデメリットが大きいだけでなく、環境に悪影響を及ぼすことがあります。適正な施肥を行うためには、

- ・都道府県の「施肥基準」に則した施肥
- ・土壌分析の結果を「土壌診断基準値」と照らし合わせてほ場の状態を把握
- ・肥料成分が過剰な場合には、「減肥基準」を参考に肥料の種類や施肥量を見直す

などの取組が重要です。右記リンク先では、各都道府県の協力の下に集めた施肥基準等を紹介しています。施肥の適正化に向け、これらの施肥基準等を積極的にご活用ください。



堆肥供給者リストを公開しています！

▼掲載先リンク
(東北農政局HP内)

東北農政局管内の堆肥供給者リストを公表しています（右記リンク、3堆肥の利活用参照）。右記リンク先では、耕畜連携の取組事例や技術、制度等の様々な情報も公開しております。



土づくりや堆肥利活用を応援します！

<主な支援措置>

	支援措置	支援対象となる取組	支援内容
補助事業	環境保全型農業直接支払交付金	化学肥料、化学合成農薬を原則5割以上低減する取組と合わせて行う対象取組(秋耕、長期中干し(溝切りと14日以上の中干し)等)。	取組内容に応じて交付 〔例:堆肥の施用:4,400円/10a 秋耕:800円/10a〕
	〔産地生産基盤パワーアップ事業のうち全国的な土づくりの展開〕	全国的な土づくりの展開を図るため、堆肥や土壌改良資材、緑肥等を実証的に活用する取組(資材の購入・運搬・保管、散布に係る経費等)。	交付率: 定額(3万円/10a、ペレット堆肥のみ3.5万円/10a)、1/2以内(堆肥散布機械のリース導入)
	肥料価格高騰対策事業(化学肥料低減定着対策)	化学肥料の2割低減に向けた地域でのまとまった取組(堆肥散布等の掛かり増し経費の1/2相当額を支援)。	交付率: 定額(上限500万円/地区)
	〔みどりの食料システム戦略推進交付金のうちグリーンな栽培体系への転換サポート〕	土壌診断に基づく施肥設計や堆肥活用等の環境にやさしい技術と省力化技術の検証等(ほ場・機械借上げ費、資材費、土壌診断等)。	交付率: 定額(上限300万円又は360万円)、機械導入は別途1/2以内
税制	みどり投資促進税制(法人税・所得税の特例)	みどりの食料システム法に基づく計画認定を受けた農業者が、化学肥料又は化学農薬の使用低減に資する機械設備等を取得した場合。	特別償却 〔機械等:取得価額×32% 建物等:取得価額×16%〕

お問合せ

【畑作、税制について】

東北農政局 生産部 生産振興課

☎ 022-221-6169(直通)

【土づくり、支援措置等について】

東北農政局 生産部 生産技術環境課

☎ 022-221-6214(直通)

【堆肥供給について】

東北農政局 生産部 畜産課

☎ 022-221-6198(直通)